

久しぶり、見に来てたも一礼 第7回八丈島芸能文化祭

文化協会の行事である八丈島芸能文化祭は、ここ3回連続で、コロナのために中止になってきました。今回は、コロナが少し落ち着いてきたということで、何とか実施できるものと期待して、取り組みを行っています。

芸能文化祭は、2019年度に大きく方針転換し、子ども中心のイベントという考えを打ち出しました。それは、子ども達に対して島の日常的な芸能活動への参加を図り、その結果を発表する芸能文化祭にするというものでした。しかし、結局コロナのために子どもたちの練習もままならない状況になってしまっています。

こうした中ですので、子ども中心ではなく、大人中心の芸能文化祭に戻し、下記のような内容で考えています。なお、実施に当たっては、コロナ対策を行うとともに、コロナの影響などで会場が使用できなくなった場合は中止します。

- 日時 2023年2月19日(日) 13:30~15:30
- 会場 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
- 出演団体 檜立踊り保存会、加茂川会、中之郷やとんの会、八丈太鼓・月曜会、八丈太鼓・よされ会、八丈島連合婦人会
- 主催 八丈島文化協会、八丈島芸能文化祭実行委員会
- 後援 八丈町、八丈町教育委員会
- 入場料 一般500円。高校生以下は無料

今回の特徴は、八丈島連合婦人会の協力も得ながら、八丈シヨメ節をとりあげてみようということです。

第7回 八丈島
芸能文化祭

◎2023年2月19日(日)
13:00開場/13:30開会
(終演予定15:30)

◎会場 八丈町おじゃれホール

◎賛助入場料 一般500円
園児・小・中・高生は無料

◎出演団体
月曜会、よされ会、中之郷やとんの会、
檜立踊り保存会、加茂川会、連合婦人会

●主催
八丈島文化協会
八丈島芸能文化祭実行委員会

●後援
八丈町、八丈町教育委員会

□問い合わせ先 八丈島文化協会 04996(2)2833

《2022年12月~2023年5月のイベント情報》

協会の主催・後援イベントや、加盟団体の活動を中心に、掲載。詳細は、協会のホームページ、「FAX・メール通信」をご覧ください。コロナの状況によっては、変更や中止があるかもしれません。

- 八丈混成合唱団30年記念コンサート 12月17日(土)14:30~16:00 おじゃれホールにて 入場無料
- ちょんこめ映画会 1月14日(土)14:00~ おじゃれホールにて 入場無料
上映作品「夜明け前 呉秀三と無名の子供たちの100年」
- 第83回島民大学講座 2月4日(土)午後7時30分~9時 5日(日)午前10時~11時30分
講師 武田尚子(早稲田大学教授、元八丈高校教員) 会場:三根公民館集会室
- 第7回芸能文化祭 2月19日(日)13:30~ おじゃれホールにて 入場料:一般500円、高校生以下は無料
出演団体:檜立踊り保存会、加茂川会、中之郷やとんの会、八丈太鼓・月曜会、八丈太鼓・よされ会、八丈島連合婦人会
- 第17回歴史セミナー 1月21日(土)~3月11日(土) 13:30~15:30 商工会研修室など

八丈島文化協会 会報 第42号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2022年12月9日 発行

八丈町文化功労賞を受賞して

令和4年度の八丈町表彰において、下記の団体・個人が文化功労賞を受賞されました。

◆檜立踊り保存会◆



この度、八丈町の表彰が、10月22日檜立踊り保存会にありました。ひとえに、応援して下さる皆様のおかげと、感謝申し上げます。

私自身も、小学生時代から、公民館等での練習と本番、都内在住中も帰島中は踊っていました。現在も小・中・高校生に引き継がれ、お盆の帰省中は踊りの輪の中に入ってくれています。コロナの影響で盆踊りは休止中ですが、服部屋敷での踊り、月1回の練習日等、活動は続けています。これからも皆様のご支援ご協力をお願いします。 檜立踊り保存会会長 磯崎雄一郎

この度、文化功労団体として八丈町から表彰をいただきました。八丈島自然っ子クラブは、平成元年4月に発足し、子ども達に島の自然のすばらしさを心や体の中に記憶してもらいたいと願い、30年以上にわたって自然体験活動を続けてきました。活動をここまで繋いでくださった多くの先輩方やスタッフ、そして会員の子も達や保護者の皆さんの情熱とご協力があったからこそ、辿り着くことができたものと、深く感謝申し上げます。

◆八丈島自然っ子クラブ◆



◆榛原 良元さん◆



この度「本町文化の発展向上に寄与」ということで表彰していただきました。八丈島の友人に誘われて来島したのをきっかけに、23年ほど前に移住しました。たまたま余興で民謡を歌いましたところ、習いたいという方がいて、教室を開くことになり、八丈島文化フェスティバルにも参加するなどの活動ができて良かったです。

新理事紹介 西尾 径子さん

こんにちは。この度、文化協会の理事に仲間入りしました西尾径子です。現在「八丈島あそびと文化のNPO あびの実」の運営委員をしています。また、趣味で「Gold breath」でマリンバや歌を、「Con Anima」で合唱を楽しんでいます。

理事になってみると、文化協会が様々な活動をしている事がわかりました。八丈島が、文化の豊かな島になりますよう、お役に立てればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。





初めて10月開催!! 第33回八丈島文化フェスティバル



第33回八丈島文化フェスティバルが“文化の秋”に、3年ぶりに両部門そろって開催されました。おじゃれホールで10月10日に行われた舞台部門には、13団体約150人が出演。賛助金として入場料をいただくという初の試みでしたが、476人の方にご来場いただきました。作品展部門は10月22日・23日、町民ギャラリーと商工会研修室の2会場に、これまでで最多の18組が出演して行われ、こちらら431人という多くの方にご来場いただきました。

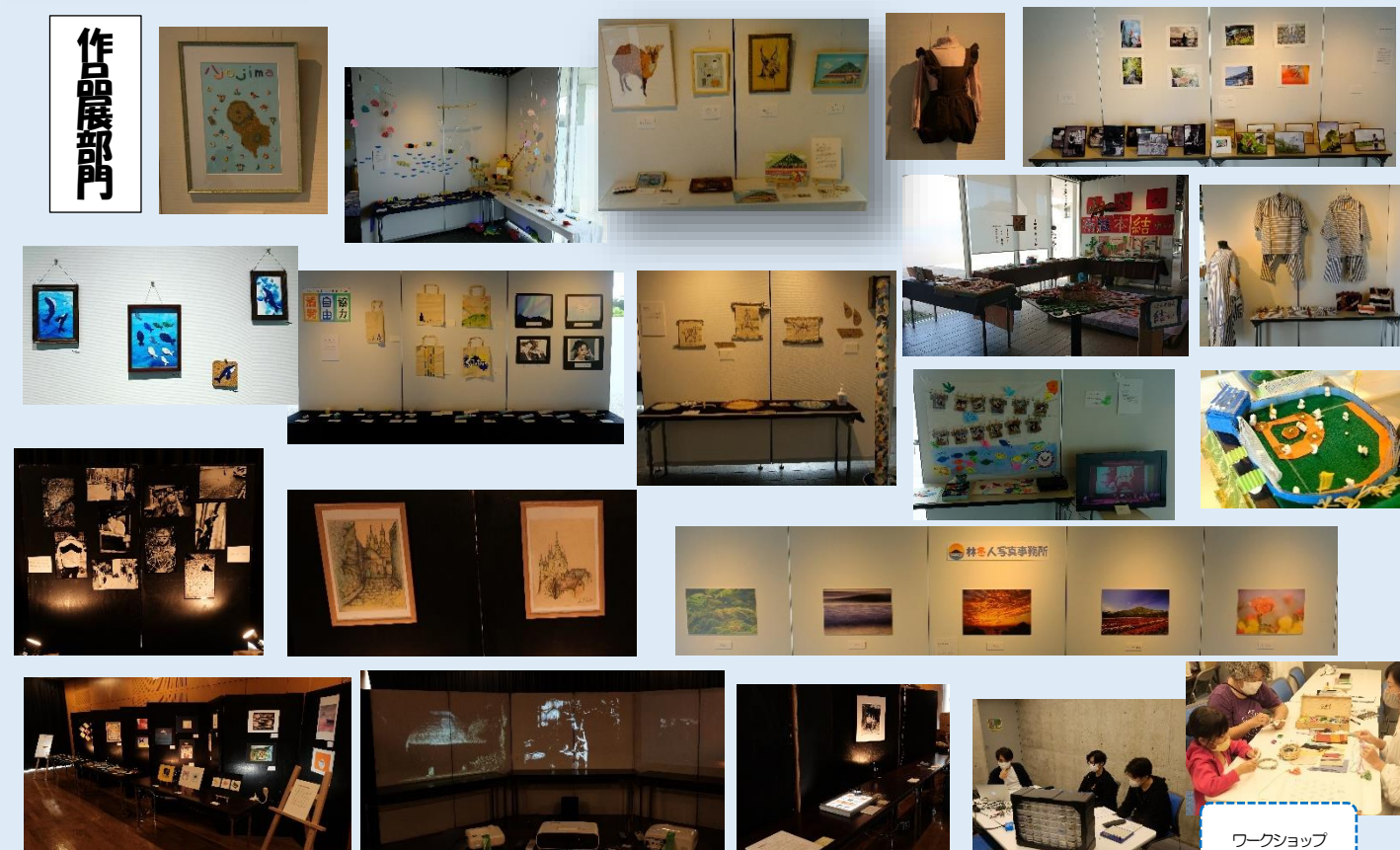
当日の様様を写真でご紹介します。文化協会ホームページ、文化フェスティバルFacebookページも併せてご覧ください。



舞台部門



作品展部門



ワークショップ



あびの実が100回記念舞台公演 招待の子ども達が歓声



NPO法人「八丈島子どもと文化のNPO『あびの実』」の舞台公演が100回を迎えました。11月6日「特別企画100回記念・子ども招待公演特別企画」開かれ、高校生以下無料招待で開催され、久しぶりのおじゃれホールでの舞台でした。来場者も200名を超え、賑やかな歓声がホール内を圧倒し、生の舞台の醍醐味を実感する素晴らしいひと時となりました。

100回記念の舞台は、活動的で活発な舞台を全国で展開している劇団「TAP DO (タップ ドゥ)」の「スペシャル・パーティタイム」。5人が繰り広げるタップダンス、ジャグリング、人形パフォーマンス、歌と踊り、爆笑の新カップ物語など、舞台狭しと繰り広げられる見事な舞台転換は、コロナ禍で長期間の巣ごもりに耐えてきた来場者を魅了しました。コロナ禍で長期に閉鎖的だったこの時季に、地域の文化活動の再幕開けを告げるようなハッピーでエキサイティングなエンターテインメントショーでした。



100回の節目の舞台を機会に、あびの実についてひと言ふれさせて下さい。「子どもに生の舞台芸術を！ 子ども達を真ん中に子どもの育ちを創る自主活動を！」などを目標に、地域文化活動団体として昭和58年(1983)に設立されました。文化などと言うと「道楽者のやること！」などと嫌味を言われる環境がありましたが、例年2回ほどの舞台公演を続けてきました。初回は昭和58年12月で、保育園・小学校の巡回公演を行い、1300名を超える子どもが鑑賞しました。創立から40年余り、会の運営に多くの苦労や楽しみが走馬灯のように甦りますが、100回を迎えられたことは、運営に携わってきたあびの実の皆さん、何よりも日常的に惜しみなく支援と協力をして下さった島の皆さんの地域力に、忘れることの出来ない感謝が多くあります。これからも文化協会の一員として、あびの実会員と共に地域文化活動向上に、文化協会の有望な一員となるような活動を進めていきたいと思っています。

(文責 内山江差夫)

世界遺産都市の歴史から戦争と平和を考える 第83回八丈島民大学講座

「混迷する時代の状況を自らの目で見きわめ、自らの手で明日を築いていくために、ともに学ぶ、地域に開かれた生涯学習の場を提供する」目的で1980年に始まった「島民大学講座」が83回を迎える。講師は、早稲田大学人間科学学術院の武田尚子教授(地域社会学)で、タイトルは「海洋交易都市ドゥブロヴニクの復活：戦火と世界遺産」。

「20世紀も、21世紀の今も、世界中で多くの都市が戦火にさらされている。戦争では都市をめぐる攻防戦が展開される。なぜ、都市が攻撃されるのか。歴史社会学の視点から、都市が争奪の対象にされる本質的要因、また攻撃された都市側が防戦して死守しようとしている本質的なものとは何かを、バルカン半島クロアチア共和国の世界遺産都市「ドゥブロヴニク」の事例から読み解き、私たちはどのようなまなざしで世界と日本の現実に向き合っていけばよいのか、ともに考える機会になれば幸いである。」と武田教授。

- 第1日 「なぜ、都市が攻撃されるのか - 海洋交易都市ドゥブロヴニクの場合 -」
2月4日(土) 午後7時30分～9時
- 第2日 「歴史都市の経験から現代・未来を構想する」
2月5日(日) 午前10時～11時30分
- 会場 三根公民館 集会室 (両日とも)
- 受講費 無料 賛助会費 1口500円(受講者の賛助会費と町補助金で運営されています。)

◇武田尚子(たけだ・なおこ)先生は、お茶の水女子大学教育学部中国文学科卒業。東京都立大学大学院社会科学部科学研究科博士課程修了、博士(社会学)。武蔵大学教授等をへて、2013年より現職。1984年から3年間、都立八丈高校教諭(国語科)。『チョコレートの世界史』、『ミルクと日本人』(ともに中公新書)、『海の道の三〇〇年 - 近代日本の縮図瀬戸内海』(河出書房新社)、『もんじゃの社会史 - 東京・月島の近現代の変容』(青弓社)など、著書多数

主催：八丈島文化協会 後援：八丈町教育委員会
連絡先：八丈島民大学講座運営委員会 事務局 携帯電話：090-8036-1826